

# 富家地区 『人・農地プラン』

1

令和3年3月17日  
香南市農林水産課

## 富家地区の人と農地の課題と背景

2

### ■ 課題

富家地区は、不耕作地が増えてきたことが課題です。

### ■ 課題とした理由/背景

- ・ 営農アンケート及び地区会合のグループワークより：  
農業者の高齢化、将来的な借り手（担い手）不足、不耕作地の増加、水路の整備がされていない、等々の現状認識を確認した。
- ・ 農業委員/農地利用最適化推進委員の話合いより：  
米価の低迷等による米作の事業性が悪こと、圃場はあっても利益の出る作物がないこと、借り手の減少あるいは借り手も手一杯であることなどが指摘された。

**課題対応方針/施策**

3

**■方針（基本的な考え方）**

・富家地区は、不耕作地が増加してきている状況にあるため、その要因であるインフラ改善、農業経営向上、情報取得の強化を通じて、現状の課題の改善につなげる。

**■施策（取組み）**

方針	施策 (なにを)	目標 (どこまで)	担当（誰が）			期限 (いつ)
			地区 農業者	行政 農業委員会	農業公社 振興C,JA、他	
耕作地 の維持	・地区の農業インフラ改善促進	・水路/道路の整備に向けた準備/実施計画検討	◎	建設課 ◎		R3.上期
	・事例を通じた低コスト、高収益農業のノウハウの理解促進	・農業経営の向上にむけた研修会開催依頼/受講	◎		農業振興C JA、他 ◎	R3.通期
	・HP等を通じた情報を受ける仕組みづくり（市のHP経由で農業経営/農地情報が得られる仕組み）	・農業採算性の向上の一助となる補助金情報の取得	◎	農林水産課 ◎		R3.上期
		・農地の集約/賃貸の方法の情報取得	○	農業委員会 農林水産課 ◎	農業公社 ○	R3.上期

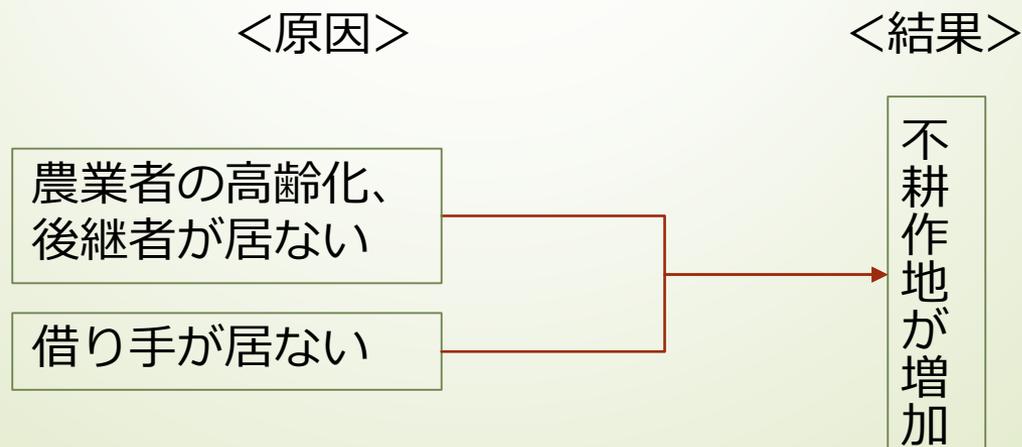
## <参照資料>

- 以下の資料は、プラン策定の元となる資料です。

■ 令和2年12月4日の富家地区会合でのグループワークを通じて下記が富家地区の課題であることを確認した。（次ページ参照）

- 本村：不耕作地が増えてきたこと
- 兎田・中山田：農業者の高齢化、後継者が居ないこと
- 新宮：将来的な借り手が居ないこと

■ これらを原因/結果の形に表現すると次のイメージとなる。



# 補足) 12月4日の地区会合での課題出し

6

<人・農地プランの実質化> 令和2年 12 月 4 日

## A本村 グループの考える地区の人と農地の課題

■ 課題

(本村) 地区は 不耕作地が増えた事 が課題です。

■ 課題とした理由/背景 (〇〇の状況があるので)

- ・ 耕作者の高齢化
- ・ 農業後継者が居ない。
- ・ 田畑(耕作)をしてもらえない。

<人・農地プランの実質化>

令和2年 12月 4日

## B 地区グループの考える地区の人と農地の課題

■ 課題

(免置山田) 地区は 高齢化・後継者がいない が課題です。

■ 課題とした理由/背景 (〇〇の状況があるので)

- ・ 収益面でみこめる作物がない。
- ・ 農地の面積が少ないので借り手がいない。
- ・ 圃場整備をしていない所の道路・水路等の整備ができてない。

<人・農地プランの実質化>

令和2年 12 月 4 日

## C新宮・みどり野・うしろ台 グループの考える地区の人と農地の課題

■ 課題

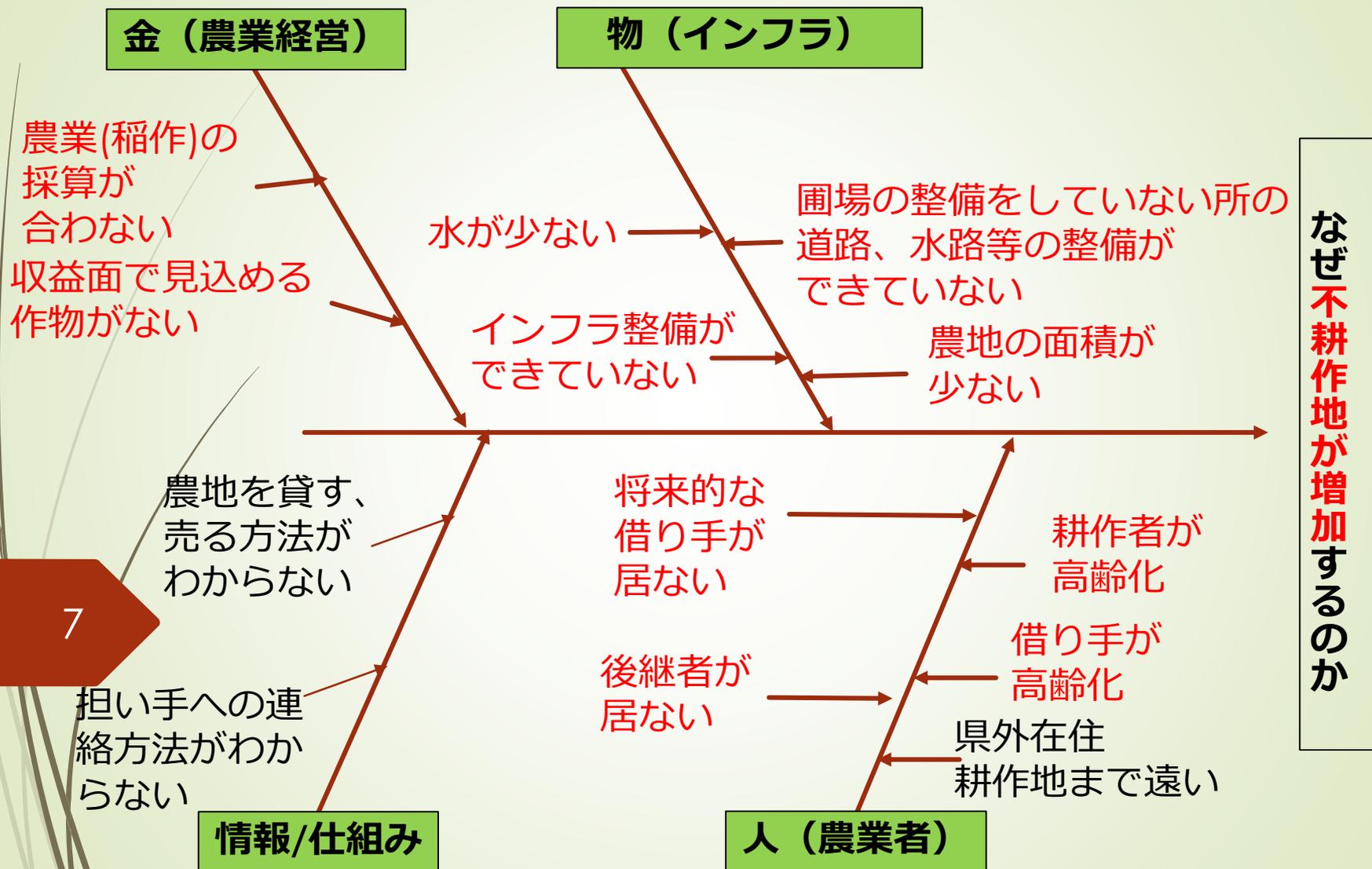
(新宮) 地区は 将来的な借り手がいないこと が課題です。

■ 課題とした理由/背景 (〇〇の状況があるので)

- ・ 現在の借り手が<sup>高齢</sup>後継者である。
- ・ インフラ整備ができておらず、次の借り手が見つからない可能性<sup>がある</sup>がある。
- ・ 水が少ない。

## 補足) 地区の課題の要因

### ■ 結果に至る原因を人、モノ、カネ、情報の4要因に分解



### ■ 要因となる項目に施策を検討する

赤字：アンケートに同様の内容の記載あり